アプローチカリキュラムシート

5領域
健康
人間関係
環境
言葉

◎知識・技能の基礎（気づき、できるようになること）
◎思考力・判断力・表現力等の基礎（試し・工夫するこ
◎学びに向かう力・人間性等（やってみたいことに向けてがんばること）

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
①健康な心と体　②自立心　③協同性　④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活とのかかわり　⑥思考力の芽生え　⑦自然とのかかわり・生命尊重⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑨言葉による伝え合い　⑩豊かな感性と表現

◎生きて働く「知識・技能」
◎未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
◎学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月

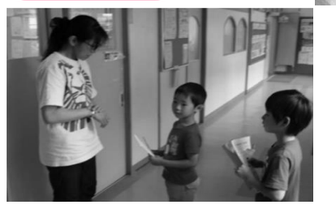
アプローチカリキュラム → 円滑な接続 → **スタートカリキュラム**

町田っ子像		具体的視点	育てたい内容と活動例	指導上の留意点（支援・環境づくりの工夫）
なかよく・わくわく・いきいき町田っ子	ともに生活する子	自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめる	自分の言いたいことを言葉で表現し、先生や友だちの話を聞く姿勢をもつ／言葉を通して先生や友だちと心通わせる　話を聞くことの大切さに気付く ・話を聞き、内容を理解し、イメージし、自分に置き換えて、善悪を判断できるようになる。（絵本や紙芝居の読み聞かせ）【10の姿　④⑤⑥⑩】 ・決定事項が必要な話し合いでは、相手の思いをうけとめることで話がまとまることに気づく（組体操のフォーメーション決め）【10の姿　③⑨】	人の話をよく聞こうとする。わかりやすいように話そうとする
		規範意識をもつ	約束やきまりの意味がわかり、それを守ろうとする／良いこと悪いことの判断ができる ・道路の端を歩く、飛び出さない。車が来たら端によけて止まる等のルールを守り、散歩を楽しむ。（散歩）【10の姿　④】 ・団体競技では、自分自身も安全に楽しむためにルールを守る必要があると気づく。（バスケットボール大会）【10の姿　③④】	ルールの大切さがわかり、みんなでルールを共有して楽しく過ごそうとする
		一緒に活動することを楽しむ	友だちを受け入れる気持ちをもち、仲を深めていく／共通の目的に向けて、友だちと協力する ・皆で協力し、花びらや落ち葉等の清掃を行い、きれいになったことを喜び、満足感を味わう。（当番活動）【10の姿　③⑤⑦】 ・自分一人だけのアイディア・行動力では達成しえない活動があり、その中に深い楽しみがあることに気づく。（発表会）【10の姿　③⑤】	友だちと助け合い、楽しく学校生活を過ごそうとする
	進んで学ぶ子	興味・関心をもって意欲的に取り組む	身近なことに関心をもつ／興味をもったことに積極的に取り組む ・調理にも順番があること、ルールがあることを知り、どのような過程でできるのかを知り、食の大切さを学ぶ。（クッキー作り）【10の姿　⑤⑧】 ・自ら調べることで、活動内容がより興味深く楽しくなることに気づく。（さいまいも堀り）【10の姿　⑦】	いろいろなことに興味・関心を持ち、取り組もうとする
		子どもが自ら考える	遊びの面白さに気づく／遊びを工夫したり、積極的に楽しんだりする ・子ども同士でルールを決めて遊びを進める。この時に各自が積極的に意見を言い合い、取り入れることでより遊びが広がる。（室内遊び）【10の姿　①③⑨】 ・試行錯誤しながらものを作る過程で、必要な知識や道具があることに気づく。（お店屋さんごっこ）【10の姿　⑥⑧】	学ぶことの大切さを知り、学習内容の理解を深める
		わくわくきらきら心を動かすことができる	身近なものにたくさんふれあう／感じたことやイメージしたものを自由に表現する ・いつもとは違う光景を新鮮に感じ、個々がそれぞれ五感で感じ感動する。（秋の遠足）【10の姿　⑦⑩】 ・物語のストーリー展開、登場人物の気持ちや行動が理解できたり、自分だったらどうだろうと想像を膨らませる。（絵本読み聞かせ）【10の姿　⑧⑨⑩】	さまざまな環境とふれあい、豊かに経験をふくわませる
	自他を大切にする子	自己肯定感をもつ	のびのびと生活する／自信をもって行動する 皆で協力し、練習してきたことを発表することで、各自が達成感を味わい、今後の様々な場面での自信につなげていく。 ・おやこふれあいDAYの発表【10の姿　②⑩】　・クリスマス会（合唱等）【10の姿　③】　・生活発表会【10の姿　③⑨】→ 自分自身で身の回りのことができることに気づく。 ・お泊り会【10の姿　①②】	新しい環境に自らかかわり、自信を深める
		ひと（自分も他人も）を大切にする	身近な人々との交流を楽しむ／思いやりと感謝の心をもってかかわろうとする 各クラスに入り異年齢児のお世話をすることで、昔を振り返ったり、優しく接する気持ちを持つ。 ・異年齢児交流【10の姿　⑤⑩】→ 様々な人生活する中で、思いやりの気持ちをもつ大切さ、自分も誰かに大切にされている存在だと気づく ・デイサービス訪問【10の姿　⑤⑦】→	新しい環境に親しみ、人間関係を育む

なかよしタイム

朝、みんなで楽しく、手遊び歌で遊んだり、絵をかいたり　、本の読み聞かせをしたりしているよ。

わくわくタイム



職員室はどこかな？給食室では、みんなのために、調理員さんが、おいし

ぐんぐんタイム

国語の学習で名刺を交換して、自己紹介

みんなで協力して、給食の配膳をしているよ。そうじの時間、机を持ち上げてはこんでいるよ。

カリキュラムの充実に向けて

	幼　児　期	就　学　期
施設間での取り組み	子ども同士の交流：・学校訪問　・給食交流　・園児の授業体験 職員同士の交流：・幼保小担当者会議　・保育要録の活用　・職員の研修会 その他：・縦割保育の実施	・幼稚園・保育園での経験や学びを参考にする 近隣の幼稚園や保育園を参観したり、保育者に話を聞いたりするなど、児童の学び方や指導の仕方を知り、小学校での指導に生かす。 ・生活に即した学びの構成を考える 興味・関心は意欲的な学びを支える重要な要素である。児童の気付きやつぶやきから活動を広げたり、教師のしかけで児童の興味・関心を引き出したりするなど、柔軟な発想で授業を構成する。 ・教職員全員の理解を図る 1年生は6年間の小学校生活のスタートであり、円滑にスタートすることはその後の学校生活を支えることになる。学校体制として小学校のスタートを支えるため、教職員全員で共通理解を図ることが大切である。
家庭との連携	・月に一度、連絡帳にて、個々の様子を知らせる（楽しんでいる様子や頑張っている様子等） ・子どもからお父さんお母さんへのお手紙を渡し、園でどのような活動をしているか実感してもらう。	